

空港施設使用（使用変更）届出書

※1 提出日について

空港施設使用届出書は原則、フライト日より前にご提出いただく必要があります。その為、記載日はフライト日より前の実際ご提出いただく日、もしくはフライト日を記載してください。

※2 申請者 氏名

法人によるご利用の場合は法人名・代表者氏名をご記載ください。注意（担当者の方の氏名での申請、法人名の記載がないケースが散見されております。）

※3 停留料について

空港における停留時間が6時間未満の場合は停留料が発生しません。

※4 使用目的

使用目的記載例（訓練、〇〇業務、給油、CAB チェック/事業用操縦士等の試験科目）

※5 訓練内容

使用目的に問わず着陸回数を記載してください。（訓練内容という標記のため、使用目的によっては着陸回数を未記入にて提出がなされるケースがあります。）

様式第2号（第1条、第2条関係）

空港施設使用（使用変更）届出書

※1 令和〇年 4月 1日

福島県福島空港事務所長

申請者 住所 福島県福島市杉妻町〇-〇

氏名 株式会社 RRJSF

代表取締役社長 福島 太郎

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

空港施設を使用（空港施設の使用について届け出た事項を変更）したいので、福島空港条例第4条の規定により、次のとおり届け出ます。

Table with application details including aircraft type (AW139), registration number (JA〇×△〇), weight (6.4 tons), main landing gear (tricycle), and usage period (April 1, 9:00 to 14:00).

備考

- 1 「主脚の形式」、及び「使用しようとする施設」欄は、該当するものを○で囲むこと。
2 「使用しようとする施設」欄のその他に該当する場合は、( )内に具体的に記載すること。
3 ※印の欄は、使用変更の届出の場合に記載すること。
4 「参考事項」欄には、タッチアンドゴー (T/G)、ローアプローチ (L/A) 及びフルストップ (F/S) 等を行う場合にその回数を記載すること。

**空港施設使用（使用変更）届出書の記載内容に変更が生じた場合**

空港施設使用（使用変更）届出書の記載内容にいかなる変更が生じた場合は、先にご提出いただいている空港施設使用（使用変更）届出書に変更内容を記載し再提出をお願いしています。

また、それに伴い着陸料等免除申請書も変更が生じた場合は、空港施設使用（使用変更）届出書と同じ内容にて再提出をお願いします。

例) 悪天候のため、『使用期間』9時～14時を12時～15時に変更。及び『参考事項』の訓練内容をF/S×1回、T/G×1回をT/G×1回をとりやめ、F/S×1回に変更が生じた。

※1 空港施設使用（使用変更）届出書  
（使用変更）を○で囲んでください。

※2 使用期間  
変更箇所を二重線で消し、利用する時間を記載してください。

※3 変更内容  
変更理由、変更事項を記載してください。  
(変更内容欄のみに記載し、変更箇所は修正していないケースが散見されています。変更箇所も二重線で消し、修正してください。)

※4 参考事項 訓練内容  
訓練内容の修正の場合も※2同様二重線で消し、変更後の着陸回数を記載してください。

様式第2号（第1条、第2条関係）

※1

空港施設使用 **（使用変更）** 届出書

令和〇年 4月 1日

福島県福島空港事務所長

申請者 住所 福島県福島市杉妻町〇-〇

氏名 株式会社 RRJSF

代表取締役社長 福島 太郎

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

空港施設を使用（空港施設の使用について届け出た事項を変更）したいので、福島空港条例第4条の規定により、次のとおり届け出ます。

使用航空機の型式等	型 式	AW139
	登 録 番 号	JA〇×△〇
	最 大 離 陸 重 量	6.4トン
	主 脚 の 形 式	単車輪・複車輪・複々車輪・四脚四輪
	換 算 単 車 輪 荷 重	トン
	騒音値（ターボジェット機の場合）	E P Nデシベル
※2 使 用 期 間	令和〇年 4月 1日 <del>9</del> 12時 00から 令和〇年 4月 1日 <del>14</del> 15時 00まで <del>3</del> 5 (停留時間 <del>5</del> 時間)	
使用しようとする施設	滑走路・誘導路・エプロン・ <b>（その他）</b> （スポット 7A）	
使 用 目 的	訓練	
※3 ※ 変 更 内 容	( 令和〇年 4月 1日付け届出の変更) 変更理由 悪天候のため 変更事項 T/G×1回から0回、9時～14時を12時～15時までに変更	
参 考 事 項	出発地	〇〇ヘリポート
	行き先	××ヘリポート
	訓練内容 ※4	T/G（着陸前 <del>0</del> 1回）（離陸後 回）
		L/A（着陸前 回）（離陸後 回）
		F/S（ 1 回）
連絡者名	操縦士 福島 花子 搭乗者数（計 6 人）	
電話番号	010-1111-1111 0248-12-3456	

備考

- 「主脚の形式」、及び「使用しようとする施設」欄は、該当するものを○で囲むこと。
- 「使用しようとする施設」欄のその他に該当する場合は、( )内に具体的に記載すること。
- ※印の欄は、使用変更の届出の場合に記載すること。
- 「参考事項」欄には、タッチアンドゴー（T/G）、ローアプローチ（L/A）及びフルストップ（F/S）等を行う場合にその回数を記載すること。

## 着陸料等免除申請書

## ※1 提出日について

原則、着陸料等免除申請書についてはフライト後、金額が確定したのちに提出をお願いしております。

その為、提出日についてはフライト日の日付の記載をお願いします。

## ※2 申請者 氏名

空港施設使用（使用変更）届出書に記載いただいた申請者氏名と同じ申請者氏名を記載してください。

## ※3 使用航空機の型式等

空港施設使用（使用変更）届出書に記載いただいた項目と同じ内容を記載してください。

## ※4 免除を受けようとする着陸料等の額

『福島空港条例 別表第1(p.6)』を参考に着陸料等を算出いただき、税込みの金額にて記載してください。

## ※5 免除を受けようとする理由

内容を○で囲み、空港施設使用（使用変更）届出書と同様の使用目的を記載してください。

## ※6 参考事項

空港施設使用（使用変更）届出書に記載された着陸内容と回数を記載してください。

様式第13号(第1条関係)

## 着陸料等免除申請書

※1 令和〇年 4月 1日

福島県福島空港事務所長

申請者 住所 福島県福島市杉妻町〇-〇

氏名 株式会社 RRJSF

代表取締役社長 福島 太郎

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

福島空港条例第18条の規定による着陸料等の免除を受けたいので、次のとおり申請します。

使用航空機の型式等 ※3	型 式	AW139
	登 録 番 号	JA〇×△〇
	最 大 離 陸 重 量	6.4トン
	主 脚 の 形 式	単車輪 複車輪・複々車輪・四脚四輪
	換 算 単 車 輪 荷 重	トン
	騒 音 値 (ターボジェット機の場合)	EPNデンベル
免除を受けようとする着陸料等の額 ※4	着 陸 料	2,838円
	停 留 料	0円
	計	2,838円
免除を受けようとする理由	公用・試験飛行(※5 CABcheck 事業用操縦士)・その他( )	
使 用 期 間	令和〇年 4月 1日 9時 00分から 令和〇年 4月 1日 14時 00分まで	
参 考 事 項	F/S×1 T/G×1 ※6	

備考

- 「主脚の形式」及び「免除を受けようとする理由」欄は、該当するものを○で囲むこと。
- 「免除を受けようとする理由」欄の試験飛行又はその他に該当する場合は、( )内に具体的に記載すること。
- 「参考事項」欄には、フルストップ(FS)又はタッチアンドゴー(T/G)を行う場合にその回数を記載すること。

### 夜間駐機にかかる誓約書

航空機の夜間駐機（ナイトステイ）を伴う場合は誓約書も併せてご提出ください。

※1 年 月 日

空港施設使用(使用変更)届出書と同様、事前にご提出ください。

※2 住所等

空港施設使用(使用変更)届出書に記載と同様に記載してください。

※3 緊急連絡先および責任者

夜間等でも連絡がつく方で、なおかつ現場での指揮権をもつ方のご連絡先を記載してください。

## 誓 約 書

※1

年 月 日

福島空港事務所長

※2

住 所 福島県福島市杉妻町〇-〇

所有者又は航空従事者氏 株式会社 RRJSF  
代表取締役社長 福島 太郎

登 録 記 号 JA〇×△〇

航空機の夜間駐機（ナイトステイ）について

令和〇年〇月〇日、上記登録記号航空機を福島空港に夜間駐機（ナイトステイ）するにあたり、当航空機の管理については、一切私が責任を負います。また、福島空港離陸までの天災、人災等によって生じた当航空機の損害は求償いたしません。

※3

※ 緊急連絡先 住 所 福島県福島市杉妻町〇-〇

電話番号 0248-12-3456

責 任 者 携帯電話番号 010-1111-1111  
操縦士 福島 花子